

横田公民館だより

令和4年度

発行 横田公民館

発行日 令和 5年 3月31日

編集 教養部

人を繋げる絆の場が横田公民館

横田第5町会長 柳澤理晴

お正月の1月7日、子ども会保護者代表、横田町会長会、そして横田公民館長との共同主催でコロナ禍の為、3年間出来なかった三九郎が盛大に行われました。午前中の準備には50名以上の方が、午後1時半の点火時には繭玉を持った子ども達も含め何百人もの人達が集まりました。残念ながら、松不足もあり1本しか建てられませんでした。若い人たちと一緒に伝統行事が無事出来た事に感慨深い物がありました。

今横田の各地には新しく住宅地が造成され若い人達が多く転入されて来ております。三九郎にもこの若い人達がかかり参加されておりました。現在旭町小学校には横田地域から60名程の児童が通学しています。我々町会は従来の町会の人々の絆を強めるのは勿論の事、新

しい町会加入者との融和と結び付きが今まで以上に求められております。町会の人力を高める為にもコロナ禍何かと行動に不自由な時代ですが、ウィズコロナで工夫しながら公民館を人の繋がり場として活用していきたいと思っております。

最後になりましたが、公民館活動と公民館の整備管理をしていただいた4人の公民館長の皆様と公民館役員の人達のこの1年間のご努力に感謝申し上げます。



三九郎が1つ出来上がりました



2011(H23)年10号の広報まつもとと表紙
9月の敬老祝賀会に112人が参加、バンド演奏と歌で会場は元気一杯でした。

町内公民館の役割を考える

横田公民館長 田口 悦久

前任の安塚館長が急遽体調不良で退任され、残任期間の職務を行う事となり宜しくお願い致します。安塚様の早期ご回復をお祈りいたします。

さて、公民館は何を目標に行動すべきかを考えてみました。町会を含め地域の皆様方を結び付ける努力をすること、地域の結び付きの内容をお知らせすることが大事だと考えました。今回「フクロウの家横田」様に原稿執筆を依頼しました、不幸にも大災害が発生した場合は余力があれば町会がお手伝いしたり、逆に福祉の専門家から町会に適切なアドバイスを頂ける事も期待されます。

高齢者だけでなく子ども会や、思誠寮などの学生さん等など地域の多くの団体や組織と町会が仲良くなり交流が深まれば、地域の凶悪な犯罪被害や大災害の危機を乗り越える方策に繋がることと思います。

そんな思いを持ちながら、一步づつ着実に取り組みたいと考えています。

「久しぶりの文化祭」

第3町会 教養部長・常谷 夕子

横田に住み始めて10年がたとうとしていた頃、横田公民館の役員（教養部）が回ってきました。教養部は主に11月上旬に公民館で開催される文化祭を担当します。コロナ禍となつてずっと出来ていなかった文化祭、今年は11月6日（日）に開催されました。

心待ちにされてた方もいたと思います、沢山の方々にご来場いただきました。何時もなら大鍋でカレーを作ったり、焼き鳥を焼いたり、お茶やコーヒーの提供をしているのですが、今回はコロナの為飲食は無しです。会場内で行われるイベントと地域の皆さんが作った作品の展示のみとなりました。

前日からの準備、私は仕事のため終りがけからの参加でした。最初からいた方が暗くなるまで作業をしていた方々、ありがとうございます。そのお陰で当日は皆さんの作品が綺麗に飾られており、文化祭らしい会場内となりました。

イベントは、松本市保健所健康づくり課の皆さんの「いきいき100歳体操」、特殊詐欺を題材にした「つむぎちゃん劇場」、信州大学レトロ音楽部の皆さんの「レトロ音楽」の生演奏、どれも盛り上がり笑顔の文化祭となりました。

今コロナは当初より感染者減少傾向で5類になろうとしています。地域のイベントも、皆さんの生活も前の様に自由に楽しめる時がもうすぐだと思います。それまで、もう少しの我慢。来年からは「何時も通りの文化祭」ができるといいなと思いました。



老人ホーム『ふくろうの家』です

桐山電機株式会社（運営会社） 社長 桐山 則夫

こんにちは、最初に自己紹介をさせていただきます。『ふくろうの家』は横田4丁目にあります。建物は2棟ですが、その中で次の4つの事業を展開しております。

☆住宅型有料老人ホーム「ふくろうの家横田」（30室）

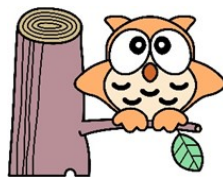
☆サービス付き高齢者向け住宅「ふくろうの家横田みなみ」（25室）

☆デイサービスセンター「ふくろうの家」

☆居宅介護支援事業所「ふくろうの家」



ふくろうの家横田（30室）



ふくろうの家 横田みなみ（25室）
ディサービスセンターも併設

当社はデイサービス事業を平成24年に松本市筑摩で開業し、平成26年に横田の地に老人ホームを開業致しました。その隣接地に令和元年新たなホームを開業し、それと同時に筑摩にありましたデイサービスを、横田の地に移転統合しております。

当施設は開業以来経営理念として「地域のために」と題し、地域の皆様との交流とともに地域連携を念頭に、高齢者を支える一員として社会貢献に努めるよう定めております。

「近くにありながら施設は敷居が高い」とのお言葉を耳にし、『サロンふくろう』と言う地域の皆様とのふれあいの場を提供させて頂きました。近くにお住まいの高齢者の方々や入居者、そしてボランティアで参加下さいました皆様との交流を重ね楽しんで頂きましたが、現在は残念ながら新型コロナウイルス感染防止のため活動休止の状態にあります。

今後の感染状況により『サロンふくろう』の再開と、ご高齢の皆様には身近なデイサービス事業所での健康相談、介護の困り事相談、健康体操の指導など、皆様に寄り添ったお付き合いにより、地域の方々と共に活動できる施設でありたいと願っております。

地域に愛される幼稚園を目指して

本郷南幼稚園 園長 平林美江



日頃より、地域の皆様には子ども達の成長を温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。本郷南幼稚園は、令和6年度で創立50周年を迎えます。本郷村と松本市が合併するにあたり、地域住民の皆様の多大なるご努力により、現在地に創設されました。当時は4歳児62名、5歳児42名で、計104名の園児が生活していたようです。

50年の間に社会情勢は大きく変化し、出生率の減少に加え、最近では共働きの家庭も増え、幼稚園の園児数も減少傾向にあります。

幼児期に育まれた学びや力は、小学校以降の学習や生活の土台となり、大切な時期でもあります。子ども達は、遊びの中から様々なことを学んでいます。幼稚園は保育園に比べ、園で過ごす時間は短いですが、その全てが遊び（学び）の時間であり、子ども達の主体性を育てる教育を目指し、大人が一方向的に与える保育ではなく、子ども達の興味や関心を基に、子ども達が主体となって遊びを進めていくことを大切にしています。じっくりと遊び込む時間を保障でき、子ども達がアイディア豊かに自分のやりたい遊びを楽しみ、試行錯誤を繰り返しながら、友達と協力して遊ぶことができる場だと思います。小規模園ならではの家庭的な雰囲気や、学年の枠を越えて子ども達が仲良くかかわりながら育っているところも当園の良さだと思っています。

降園後は南郷児童館や横田公園、そして家庭で家族とゆっくりかかわって過ごす時間もあり、幼稚園と家庭が車の両輪のように子ども達の成長を支え、喜びを共有できるところも良さであると感じています。

地域の皆様に大切に支えられてきた幼稚園を今後も皆様に愛され、地域に開かれた幼稚園として守ってまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。機会がありましたら、幼稚園へもぜひお越しください。



「私 と 麻雀」

横田第6町会 柳澤 珠子

私が麻雀を知ったのは、主人の転勤先の宿舎の我が家で、同じ宿舎の方々と麻雀をする傍らで、お茶の接待をしながら目にしたのが始めでした。それも長くは続かずしぜんと立ち消えとなり、私も子育てやら色々で、何時の間にか忘れておりました。

気の遠くなる程の年月を得て、横田に戻りその後社会の様子も変わり、介護保険制度が出来たり、自分にも老後があるのだと知らされたりと、高齢化社会への取り組みが始まった様に思います。

そんな頃、お友達に言葉を掛けられ、え！！麻雀！！と久しぶりに思い出し、その時始めて牌に触れたのでした。

頭の活性化にもなり、指先を使うのが良いとか、あちらこちらの会で行っているよう様が伺えるようになり、新設なった公民館でもと道具を用意して頂き、誰でも気軽に利用出来るようにと、一日開放の日が設けられ、その日の午後行う事になり、月一回ですがお仲間が集い一卓（4人）の時も二卓の時もあったりと、和気藹々と健康麻雀を楽しんでいます。

今はメカが発達し、一人でゲームを楽しんでいらっしゃる方もあるとお聞きし、それはそれだと思います。四人がテーブルを囲んでする事に思いもよらぬ人間模様が、垣間見えたりして面白いですが、麻雀愛好家は数多くいらっしゃると思います。人はそれぞれと言う所でしょうか。

麻雀も一応ゲームですので勝敗はついてまわります。そのみに拘泥することなくその時の運・風の吹き具合と達観して、ゲームの持つ奥深さや面白さを満喫しております。

少しでも興味をお持ちの方はべてらんの方々がいらして、初心者の方には懇切丁寧に手解きをして下さいます。道具も揃っておりますので、出かけて見ては如何でしょうか。

1年間をふり返って

令和4年度横田地区子ども会代表・同3・5町会子ども会会長

松崎 美衛

コロナ禍で子ども会の行事は、ほぼ中止となった2年間。できる範囲での実施を公民館と子ども会で検討してきました。

従来行われてきた柏餅作り・カレー会・まゆ玉作りは飲食を伴うため中止とし、代替えとして6月と8月に公民館より季節にちなんだ遊具とお菓子を準備して頂き、子ども達に配りました。8月は子ども達が大喜びで水鉄砲で遊ぶ姿が印象的でした。

そして町会から実施の要望が多かった三九郎が3年ぶりに開催できました。コロナ感染者増加の時期と重なり、実施も危ぶまれましたが対策を講じて行いました。実施にあたり、当日午前中の準備は従来のやり方から大きく変更して、松集めは町会の資源物ステーションに出して頂き、今回は大人のみで三九郎の設営を行い子ども達は点火時から参加としました。

13時30分の点火には大勢の子ども達、地域の方々が集まり、とても賑やかで楽しい三九郎となりました。制限の多い三九郎でしたが現状でやれること・出来ることを検討する事は長年のやり方を見直す機会にもなったと思います。準備段階から関わって頂いた町会役員の皆様、当日準備にご協力頂いた保護者の皆様、地域の皆様のおかげで三九郎を無事行うことが出来ました。

来年度は今年よりも子ども達がもっと自由に活動出来ることを願っています。



コロナ禍で行動制限・暑い日が続くストレスが続く中で子ども達は水鉄砲が好評でした。

館のお知らせ

公民館出来事は、4月講堂天井の雨漏り再発。天井開口部から確認、つり天井で転落の危険性が有り近づけない。雨漏りヶ所に開口部を設置、降雨日その都度確認。2回ほど天井の変色は確認できたが、雨漏りヶ所の特定は出来なかった。模擬的に降雨させ調査、雨漏りヶ所確認が出来ました。雨漏りヶ所を仮修繕対応し経過観察、現在3月迄雨漏りなし。

公民館備品を探すのに時間を要した。設備台帳管理状況不備から設備台帳の見直し整理が必要で取り組んでいる。本郷地区町会連合会花づくり推進で、公民館前花壇の花がプランター部門で銅賞を受賞しました。公民館活動は、コロナ感染も完全には無くならないが、公民館活動の毎月の活動・年活動の文化祭実施等、従来に近づいています。

最近は、コロナ対策をした上での飲食伴う行事も始めています。これらの公民館活動は、従来通りに戻すことや、年代を超えた活動を含め、新しい具体的な活動に取り組みたいと思います。町会の皆様も良い活動案が有りましたら提案お願いします。 記・宮澤主事

4月の公民館活動

7日(金)・14日(金)卓球の会 午後1時から:感染予防を徹底します 男性も積極的にどうぞ

22日(土)中止・公民館一日開放の日 選挙準備のため中止します

26日(水)ふれあい健康教室 午前10時から 歌の会 マスク着用で

午後1時から 卓球の会 感染予防を徹底します

30日(日)横田公民館定期総会 午後1時から

状況により変更もあります。